

6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果 宿泊客数の増加及びソウル国際定期便の利用者の増加

指標	指標名	本県における宿泊者数							指標の種類
	指標式	なし							成果指標 業績指標
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	最終年度
	目標a			3,530,000	3,600,000				
	実績b		3,460,540	データ等の出典					
	東北 全国			宿泊旅行統計調査報告					
把握する時期 当該年度中 月 翌年度 07月 翌々年度 月									

指標	指標名								指標の種類
	指標式								成果指標 業績指標
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	最終年度
	目標a								
	実績b			データ等の出典					
	東北 全国								
把握する時期 当該年度中 月 翌年度 月 翌々年度 月									

指標を設定することができない場合の効果の把握方法
 指標を設定することが出来ない理由

 見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

事業の必要性

現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性
 本県観光産業の振興に向けて、引き続き国内外に対する誘客促進事業は必要である。

住民ニーズに照らした事業の必要性
 これまでも震災対策等でクーポン券の発行等は実施してきており、観光事業者や旅行者からのニーズが高い。

事業の県関与の必要性
 法令・条例上の義務 内部管理事務 県でなければ実施できないもの
 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの

国内全域及び韓国、台湾からの誘客を目的とした事業であり、県が主体的に取り組むべき事業である。

政策評価委員会意見 重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定

重点事業 その他